

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和07年03月27日

計画の名称	19 地方創生拠点形成のための「道の駅」整備													
計画の期間	平成30年度 ～ 令和04年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	佐賀県													
計画の目標	地方創生拠点である「道の駅」において、休憩施設や情報発信施設の整備を行うことで、利便性を向上させ、利用者の増加を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		300	A	300	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初	—	R4末
1	「道の駅」鹿島の利用者数をR4年度末で72万人とする。			
	「道の駅」鹿島の利用者数	70万人	万人	72万人
	「道の駅」鹿島の利用者数			

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	佐賀県	直接	佐賀県	国道	交安	（国）２０７号 道の駅 鹿島工区	道の駅整備 L=0.2km	鹿島市	■	■	■	■	■	300		—
											小計						300		
											合計						300		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業主体（事業担当課）で評価を行う	令和7年3月
	公表の方法
	県ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	整備前は、駐車場内の車と人との動線が輻輳し、事故の恐れがあったが、今回整備により小型車と大型車の動線を分離し、歩行者用通路を整備したことにより利便性及び安全性が向上し、道の駅の利用者数の増加に寄与している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
近年、道の駅は災害時の拠点等としても注目されており、県内の道の駅の更なる有効活用を図るべく、機能強化や利便性向上に努める。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	72万人	
	最 終 実績値	72万人	